地方経済

加茂繊維が新本社工場

機能性衣料 生産能力2倍に

衣料製造販売の加茂繊維は、津山市野介代に本社工場を新設した。自社開発した機能性衣料の販売が伸びており、生産能力を倍増させる。

約1万7800平方㍍の土地を取得し、鉄骨2階延べ2千平方㍍の建物を整備。ミシン250台や自動裁断機などをそろえた生産ラインのほか、販促や受注に当たるコールセンターなどを設けた。

旧本社工場（同市加茂町青柳）から従業員が移り、新規採用も含めて82人で運営している。生産能力は旧拠点の2倍となる1日当たり約5千枚に増やせる見込みという。投資額は5億2千万円。

同社は天然鉱石のブラックシリカを練り込んだ繊維「BSファイン」を開発。遠赤外線効果が得られる保温性の高い衣料として2005年から商品を投入している。海外にも販路が広がるなど好調なことから、生産態勢を強化した。角野充俊社長は「衣料品以外の分野での製品開発も進めていきたい」と話している。

同社は1973年設立、資本金1千万円、売上高約18億円（19年6月期）。BSファインの事業などが評価され、経済産業省の「地域未来牽引企業」や、中国地域ニュービジネス協議会の「ニュービジネス大賞」に選ばれている。（山本友志）

【上から】加茂繊維が新設した本社工場と、機能性衣料の販売増に対応して増強した生産ライン

OKAZAKI
昭和43年創業 安全に安心いただける物流を
岡崎運送株式会社
岡崎運送 岡山 検索

おかやま経済ファイル

第3部 未来図

②新ビジネス・植田博幸 植田板金店社長

多様な小屋 「好循環」生む

技術活用 職人希望も増

バイクのガレージ、南仏風のミニ店舗、事務用品を置いたオフィス…。植田板金店（岡山市中区藤崎）が国道2号沿いに設ける展示場（同市南区古新田）には、多様な用途に合わせた小屋が並ぶ。

特徴は、一般的な住宅と同じ工法、同じ部材で造られていることだ。内装はおしゃれなクロスが張られ、窓は断熱性に優れた複層ガラス。室内にはトイレや台所、シャワーまで付けることができる。

「板金店として培ってきた技術を注ぎ込んだ。唯一無二の商品という自信があります」と植田博幸社長（46）。1976年の創業時から屋根や外壁の施工、部屋のリフォームを手掛けてきたノウハウを生かす。独自の仕入れルートを使って低価格も実現した。

新ビジネスとして2017年に販売を始めてから、「店の開業に使う」「趣味の部屋にしたい」といった需要を掘り起こし、100棟以上を出荷した。

〝逆転の発想〟

住宅メーカーの下請けだった板金店が生み出したヒット商品。そこには植田社長の〝逆転の発想〟があったという。

屋外で行う家造りの現場は雨が降ったら休み。しかし、職人を遊ばせるわけにもいかず、雨の日対策が悩みの種だった。植田社長はそれを逆手に取り、雨の日に若手職人に腕を磨かせようと考えた。

倉庫の空いたスペースで、現場から出た屋根や壁の端材を使い、みっちり作業を練習させる。そんな構想を描いていた16年夏、雑誌で見つけたのが、都市部で人気を集めていた小屋の特集だった。載っていたのは「ログハウスにプレハブ、コンテナ…。「うちの方がいいものができる。どうせ練習するなら、小屋を造ろう」

植田社長の行動は早かった。半年後には第1号を完成させ、仕様や外観が異なる400種類もの設計を考案した。そして17年、中国銀行（岡山市）と山陽新聞社（同）が創設した「岡山イノベーションコンテスト」に応募。見事に大賞を受賞し、一気に視界が開けた。

いつか日本一に

「新ビジネスが呼び込んだ『好循環』は計り知れない」

植田社長が、創業者の父から経営を任されたのは01年。当時は手持ち資金が不足し、倒産も覚悟しながら営業に駆け回った。下請け仕事は外から見えにくく、職人を集めるのも一苦労だった。

その仕事に光を当ててくれたのが小屋だった。屋根を葺き壁を張る板金の技術が小屋という商品を通して伝わるようになり、「楽しそう」「やってみたい」と希望者が増えてきた。

昨年6月には、世界的な建築家・隈研吾氏と一緒に小屋を製作した。協業のきっかけは、隈氏が多彩な小屋を作るユニークな板金店に関心を示したことだった。随所に緻密な施工を求められるなど注文は厳しかったが、「地方の職人でもここまでできる。自信が生まれた」と言う。

植田社長はかつて、社名を今どきの名前に変更することも考えたという。だが、今は変える気はない。「板金店はニッチ（隙間）な業界。でも、ここで満足のいくものを造り続け、いつか日本一になりたい」（大島望）

「夢の実現に使ってほしい」。多様な用途がそろう小屋の展示場で植田社長が呼び掛ける

メモ

新ビジネスを支援する動きが岡山県内で広がっている。「岡山イノベーションコンテスト」もその一つ。2017年に始まり、植田板金店の小屋のほか、長期保存技術を生かした県産白桃の輸出▽製造業や農業の作業負担を軽減する人工筋肉スーツの開発―などがグランプリや大賞に輝いた。県も本年度から、独創的なアイデアを持つ企業を発掘し、成長を支える事業「スター☆ベンチャー誕生」をスタート。初年度は6件を採択している。

岡山イノベーションコンテストで大賞を受賞した主なビジネス

- 栽培期間を短縮する独自技術でバナナなどの果物を生産し輸出
- オンライン投票で衣服のデザインを決めて縫製する消費者参加型のブランド展開
- 空き地や駐車場を活用した水を使わない洗車サービス
- 国産竹を使った新しい産業の創設
- 介護業務に家事代行などを上乗せする人材シェアサービス
- アパレル製品の仕様書作成・工程管理ができるソフト活用サービス
- 独自の調剤支援装置を使った薬剤師の業務サポート

藤戸饅頭あん使いパフェ

限定販売

ホテルグランヴィア岡山

藤戸饅頭と協業した和風フルーツパフェ

ホテルグランヴィア岡山（岡山市北区駅元町）は、倉敷の和菓子「藤戸饅頭（まんじゅう）」と初めて協業した和風フルーツパフェを、1階のロビーラウンジで販売している。

藤戸饅頭に入っている甘さ控えめのこしあんを使用。ようかんにして岡山県産の柿に載せたり、バニラアイスに練り込んだりと、多彩な食べ…

ネットワークけいざい

◇わさびの七味 静岡県伊豆市のわさび農家兼レストラン「伊豆あま…からや」は「わさ…販売している。…葉を粉砕、6種…ドした。わさび…

オープン

（基準価格・…比高▲安）
中銀アセット…日経225 …
未来のゆめ 1…
11 コア安定 1…
コア成長 1…

保護者…
就活セ…

就職活動の保護者を…就活セミナ…主催）が15…から、サン…KAYAM…区駅前町）で…キャリア…ントの本…「イマドキ…と、親の関…題して講演…による働き…づくりの事…求める人材…にしたパネ…ッションも…参加無料…0人。13日…先のビザビ…―710―…申し込む。

――～…

今月末ま…定で、16…ホテルは…カットの…も、岡山…を作ろう…伝統銘菓…の工夫を…い」とし…

【私…

◇中国銀…工業（倉敷…木工事業）…て1億円を…保証付き▽…住器（岡山…業）運転資…万円を発行…付き▽ヒュ…県米子市、…運転資金と…発行。発行…みを新聞広…SDGs私…R型」。同…